

施策評価(平成29年度)

1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	2	地域とともに歩む魅力ある産業の育成
施策	21	観光
基本方針		
自然、歴史、文化など観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
サイクリングステーションの整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
はむらの水PR事業の充実	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
観光協会の組織・機能強化の支援	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
花と水のまつり、夏まつり、ふるさと祭り等の拡充	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
農商観連携事業の推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
さまざまな媒体を活用した情報発信・シティプロモーションの強化	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
農商観連携施設の整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
国際化対応の推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
観光スポット周辺環境の整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策21「観光」では、9事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、すべて「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>これらを踏まえた結果、施策21「観光」については、取組内容は順調に推移している。</p> <p>今後の方向性については、実施計画に掲げた取組みを継続的に推進していくこととし、すべて「現状のまま継続」していくこととする。</p>
--

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 サイクリングステーションの整備		平成 27 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	21	観光	重点事業No. 1

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	多摩川沿いや奥多摩街道を走るサイクリストやランナーをターゲットに休憩スペースや情報コーナーを備えたサイクリングステーションの整備に取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	農商観連携施設と一体的な施設として基本構想の検討および策定	農商観連携施設と一体的な施設として実施計画の策定 ※事業を検討する中で事業費を算出	農商観連携施設と一体的な施設の整備	農商観連携施設と一体的な施設の運用

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	50 H	1 人	100 H	1 人	150 H	人	50 H
主事・主任職	1 人	25 H	1 人	50 H	1 人	100 H	人	25 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費				-
人件費(係長職)	249	498	747	
人件費(主任・主事職)	85	170	340	
総事業費(合計)	334	668	1,087	
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	334	668	1,087	
財源内訳(合計)	334	668	1,087	

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円

※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	農商工観連携施設の整備とサイクリングステーションと一体的な施設の整備に係る基本構想を取りまとめるとともに、具現化に向けては、全庁的な体制により総合的な検討を進めること。

②活動実績

他自治体の取組み事例や建設経費、運営手法、ランニングコスト等について情報収集を行い、羽中4丁目の土地開発公社所有の土地を整備候補地として、整備内容や財源について検討した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費				0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100 H	1人	100 H
主事・主任職	1人	50 H	1人	50 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○農商観連携施設と一体的な施設として実施計画の策定		○サイクリングステーション整備計画の検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある	A
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

サイクリングステーションの整備は、多摩川サイクリングロードという観光資源を生かした羽村市ならではの事業であり、観光振興をはじめ、商業振興や農業振興にも寄与することが見込まれる。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き効果的な事業となるよう検討を重ねるとともに、補助金等の財源についても検討し、実現性のある整備計画を策定する。

1.基本項目

事業名		作成部署	産業環境部		上下水道業務課	
00 はむらの水PR事業の充実		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
		平成 28 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課	産業振興課、環境保全課					
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	21	観光	重点事業No. 2

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	都民の水の源である羽村堰・玉川上水が市内に存在し、清澄で豊富な地下水を利用した独自の安全・安心な上水道事業や低廉で良質な工業用水道事業を展開する市として、水の保全に関する宣言を行うなど、「はむらの水」の積極的なPRに取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	リーフレット「水だより」を作成し、水道使用者に向けて全戸配付実施	同左	同左	同左
	市内不動産事業者にリーフレット「水だより」の窓口配付を依頼	同左	同左	同左
	イベント等において水の飲み比べ「きき水」の体験実施	水の飲み比べ「きき水」体験事業は、各イベントにおいて実施していく	同左	同左
	水の保全に関する宣言の制定準備	水の保全に関する宣言の制定	水の保全に関する宣言に基づく事業の推進	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	108	108	108	108
人件費(係長職)	150	150	150	150
人件費(主任・主事職)	102	102	102	102
総事業費(合計)	360	360	360	360
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	360	360	360	360
財源内訳(合計)	360	360	360	360

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

各種イベントに参加(きき水体験、水はむら販売)、市外イベントに参加(全国都市緑化フェア、エコプロ2017)、課内打合せの実施(水道応援団、水はむらの販路拡大)、水だよりの作成・配布などのPR事業を実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	108		108	108	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	30H	1人	30H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○各イベントで「きき水体験」の実施 ○リーフレット「水だより」の作成・配布	⇒ ○各イベントで「きき水体験」の実施 ○リーフレット「水だより」の作成・配布 ○課内打合せ(PR事業の実施・検討) ○ペットボトル水「水はむら」販売先の拡大

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

健全な水道事業経営を行うために、安くておいしい良質な「はむらの水」を広く周知し、水道水の需要を高めていくことが必要である。平成29年度は、体験型PR事業である「きき水」を市内外で実施し、1500人を超える方に「はむらの水」を体感していただくことができた。
 また、ペットボトル水「水はむら」の販売を、2店舗で新規に開始し、羽村市のおいしい水を広く知っていただく取組みを行った。(JR青梅線羽村駅売店、JR中央線八王子駅自由通路売店「やまたまや」)

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

リーフレットやチラシの内容の充実や、季節に合わせた内容の広報活動を実施する。

【今後の取組方針】

リーフレット「水だより」の内容を更新して継続する。
 水道応援団の立ち上げ、継続的な活動の支援を行う。
 「水はむら」の販売先拡大(市外での販売拠点の開拓、市外の方へのPRの充実) などを行っていく。

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 観光協会の組織・機能強化の支援		昭和 53年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	21	観光	重点事業No.	3

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	観光協会が進める法人化などの組織や機能強化を図る取組みを支援します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市補助金等交付要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	補助金の交付・運営支援 観光PR等の事業支援 法人設立に向けた支援	同左 同左 法人設立後の支援	同左 同左 同左	同左 同左 同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	11H	1人	11H	1人	11H	1人	11H
主事・主任職	1人	12H	1人	12H	1人	12H	1人	12H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	18,168	7,836	7,836	7,836
人件費(係長職)	55	55	55	55
人件費(主任・主事職)	41	41	41	41
総事業費(合計)	18,264	7,932	7,932	7,932
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	18,264	7,932	7,932	7,932
財源内訳(合計)	18,264	7,932	7,932	7,932

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

4月に大型テレビモニターを観光案内所へ取り入れ、情報発信の支援を行うことができた。
また、4月1日付けで法人化、10月1日付けで観光協会事務所の移転に伴う観光案内所の通年開館を実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	7,836		7,836	7,836	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	11H	1人	11H
主事・主任職	1人	12H	1人	12H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○補助金の交付・運営支援 ○観光PR等の事業支援 ○法人設立後の支援	○補助金の交付・運営支援 ○観光PR等の事業支援 ○法人設立後の支援

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

平成29年4月1日付けで法人化し、10月1日付けで観光案内所を通年開館したことで、観光客が立ち寄れる環境が整備できた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き、機能強化に向け支援を行う。

1.基本項目

事業名	作成部署	産業環境部			産業振興課
		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法
00 花と水のまつり、夏まつり、ふるさと祭り等の充実	年				
01 夏まつり	昭和 51年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	○
02 観蓮会	平成 4年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	○
03 ふるさと祭り	平成 13年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	○
04 産業祭	昭和 45年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	○
05 花と水のまつり	平成 14年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	○
関連課					
基本目標 3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	21	観光	重点事業No. 4

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	市の主要な観光イベントである花と水のまつり、夏まつり、ふるさと祭りなどの集客に結びつくよう、より一層の内容の充実を図るとともに、羽村の独自性を前面に出した新たなイベントの開催についても検討します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市補助金等交付要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	イベント内容の充実 花と水のまつり 230,000人 夏まつり 230,000人 ふるさと祭り 23,000人 産業祭 85,000人 はむらイルミネーション 18,000人 はむらにぎわい音楽祭等	同左 花と水のまつり 夏まつり ふるさと祭り 産業祭 はむらイルミネーション はむらにぎわい音楽祭等 新たなイベントの検討	同左 花と水のまつり 夏まつり ふるさと祭り 産業祭 はむらイルミネーション はむらにぎわい音楽祭等 同左	同左 花と水のまつり 夏まつり ふるさと祭り 産業祭 はむらイルミネーション はむらにぎわい音楽祭等 新たなイベントの実施

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	900H	1人	900H	1人	900H	1人	900H
主事・主任職	2人	1,800H	2人	1,800H	2人	1,800H	2人	1,800H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	49,170	57,281	57,281	57,281
人件費(係長職)	4,478	4,478	4,478	4,478
人件費(主任・主事職)	12,237	12,237	12,237	12,237
総事業費(合計)	65,885	73,996	73,996	73,996
国庫支出金				
都支出金	1,500	1,750	1,750	1,750
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	64,385	72,246	72,246	72,246
財源内訳(合計)	65,885	73,996	73,996	73,996

③コスト計算

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 1,319 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

花と水のまつりは、多くの来場者数があった。
 夏まつりは、「水」をテーマに開催した。初日は雨天で客足が伸びなかったが、多摩ケーブルネットワークの協力を得て、来場者が楽しめるイベントを実施した。
 産業祭は、「はっしん！」をテーマに開催し、羽村の産業の魅力を発信することができた。
 はむらイルミネーションでは、激辛フェスを開催した。また、台風で一度延期となったイベントは、開催日を変更し実施することができた。
 その他、はむらふるさと祭り、観蓮会、はむらにぎわい音楽祭の開催を支援し、イベントの充実を図った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	57,281	332	57,613	57,556	99.9%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	900H	1人	900H
主事・主任職	2人	1,800H	2人	1,800H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○イベント内容の充実 花と水のまつり 230,000人 夏まつり 230,000人 ふるさと祭り 23,000人 産業祭 85,000人 はむらイルミネーション 18,000人 はむらにぎわい音楽祭等 ○新たなイベントの検討		○イベント内容の充実 花と水のまつり 160,000人 夏まつり 100,000人 ふるさと祭り 24,000人 産業祭 90,000人 はむらイルミネーション 8,000人 はむらにぎわい音楽祭等

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

一部のイベントでは、天候に左右される結果となったが、集客は一定の成果が得られ、にぎわいを創出し、観光振興を図ることができた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

天候に左右されにくい工夫を検討していく。

【今後の取組方針】

1.基本項目		作成部署		産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 農商観連携事業の推進		不明	年 継続	自治事務(市独自)	直営	○	
01			年				
02			年				
03			年				
04			年				
05			年				
関連課							
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	21	観光	重点事業No.	7	

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	農業、商業、観光が連携し、花と水のまつりなどのイベント会場や観光案内所等でのマルシェの開催など、市内の逸品や農産物等の販売を推進します。また、市内商店・飲食店で羽村市産の農産物の利用促進を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	産業祭での野菜グランプリの開催や観光案内所ではむらマルシェの開催 2回	同左 2回	同左 2回	同左 2回
	観光案内所や農産物直売所を活用したイベントの検討	同左	観光案内所や農産物直売所等を活用したイベントの実施 1回	同左 1回
	商業協同組合の実施する15日市の支援 6回	同左 6回	同左 6回	同左 6回

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費			1,500	1,500
人件費(係長職)	249	249	249	249
人件費(主任・主事職)	170	170	170	170
総事業費(合計)	419	419	1,919	1,919
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	419	419	1,919	1,919
財源内訳(合計)	419	419	1,919	1,919

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円

※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

農商観とのマッチングについては、激辛フェスにおいて、市内産のとうがらしとマッチングを行った。また、市内の飲食店へ、市内農業者の地元野菜を提供するとともに、市外のイベントにおいて、市内農業者の農産物や羽村の銘菓を出品した。
観光案内所や農産物直売所を活用したイベントについては、利用者のニーズ等、情報収集に努めた。
15日市については、計画された6回の開催支援を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費				0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50H	1人	50H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○農商観とのマッチングのコーディネート 4件 ○産業祭での野菜グランプリの開催や観光案内所ではむらマルシェの開催 2回 ○観光案内所や農産物直売所を活用したイベントの検討 ○商業協同組合の実施する15日市の支援 6回	⇒ ○農商観とのマッチングのコーディネート 3件 ○産業祭での野菜グランプリの開催や観光案内所ではむらマルシェの開催 2回 ○商業協同組合の実施する15日市の支援 6回

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

農商観連携事業により産業間のマッチングを推進していくことが羽村市全体のにぎわいの創出につながる。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

観光案内所や農産物直売所を活用したイベントの検討を具体化していく。

【今後の取組方針】

引き続き、農商観で連携し、マッチングコーディネートを展開し、産業の活性化を図っていく。

1.基本項目		作成部署		産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00	さまざまな媒体を活用した情報発信・シティプロモーションの強化	不明	年 継続	自治事務(市独自)	直営	○	
01			年				
02			年				
03			年				
04			年				
05			年				
関連課							
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	21	観光	重点事業No.	8

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	テレビ、新聞、各種情報誌などさまざまなメディアを活用した効果的なPR活動を推進します。また、市の観光資源をバーチャルリアリティで紹介するシステムを導入し、イベントなどでの活用を図るなど情報発信機能を強化します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	テレビ、新聞、各種情報誌等のメディアを活用してPR活動を実施 産業祭でVR(バーチャルリアリティ)を活用した産業のPRを実施	同左 VR(バーチャルリアリティ)映像を活用して産業のPRを実施 情報通信機器の活用の調査・研究	同左 新たにVR(バーチャルリアリティ)映像を製作し、産業のPRを実施 情報通信機器の導入検討 ※事業を検討する中で事業費を算出	同左 VR(バーチャルリアリティ)映像を活用して産業のPRを実施 情報通信機器の導入

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	1人	20H	1人	20H	1人	20H	1人	20H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費			2,000	-
人件費(係長職)	50	50	50	50
人件費(主任・主事職)	68	68	68	68
総事業費(合計)	118	118	2,118	118
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	118	118	2,118	118
財源内訳(合計)	118	118	2,118	118

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

はむら夏まつり等のイベントについては、定例記者会見や広報紙、市公式サイト等のさまざまな媒体を活用し、PR活動を行った。また、VR(バーチャルリアリティー)については、見せ方の創意工夫や映像内容について検討し、産業のPRを行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費				0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	1人	20H	1人	20H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○テレビ、新聞、各種情報誌等のメディアを活用してPR活動を実施 ○VR(バーチャルリアリティー)映像を活用して産業のPRを実施 ○情報通信機器の調査・研究	⇒ ○テレビ、新聞、各種情報誌等のメディアを活用してPR活動を実施 ○VR(バーチャルリアリティー)映像を活用して産業のPRを実施 ○情報通信機器の調査・研究

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

新たな情報通信機器を活用し、効果的な情報配信手段によるPRを行うことができるものとする。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

情報通信機器の導入検討、羽村駅・小作駅等へのWi-Fi環境の整備・活用を図っていく。

【今後の取組方針】

新たな情報通信機器の活用を調査・研究し情報配信の充実を図っていく。

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 農商観連携施設の整備		平成 27 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	21	観光	重点事業No.	9

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	市内の農産物や名産品・特産品を販売し、あわせて市の地域資源、観光情報の発信を、一年を通じて行う観光案内所の機能を有する農商観連携施設の整備に取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	サイクリングステーションと一体的な農商観連携施設としての基本構想の検討および策定	サイクリングステーションと一体的な農商観連携施設としての実施計画の策定 ※事業を検討する中で、事業費を算出	サイクリングステーションと一体的な農商観連携施設の整備	サイクリングステーションと一体的な農商観連携施設の運用

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	50 H	1 人	100 H	1 人	150 H	1 人	50 H
主事・主任職	1 人	25 H	1 人	50 H	1 人	100 H	1 人	25 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費			-	-
人件費(係長職)	249	498	747	249
人件費(主任・主事職)	85	170	340	85
総事業費(合計)	334	668	1,087	334
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	334	668	1,087	334
財源内訳(合計)	334	668	1,087	334

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	サイクリングステーションと一体的な施設の整備に係る基本構想を取りまとめるとともに、具現化に向けては、全庁的な体制により総合的な検討を進めること。

②活動実績

他自治体の取組み事例や建設経費、運営手法、ランニングコスト等についての情報収集を行い、羽中4丁目の土地開発公社所有の土地を整備候補地として、整備内容や財源について検討を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費				0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100 H	1人	100 H
主事・主任職	1人	50 H	1人	50 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○サイクリングステーションと一体的な農商観連携施設としての実施計画の策定	○サイクリングステーションと一体的な農商観連携施設としての整備計画の検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

サイクリングステーションの整備は、多摩川サイクリングロードという羽村市ならではの観光資源を生かした効果的な事業であり、商業振興や農業振興にも寄与することが見込まれる。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き効果的な事業となるよう検討を重ねるとともに、補助金等の財源についても検討し、実現性のある整備計画を策定する。

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 国際化対応の推進		平成 27 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課	東京オリンピック・パラリンピック準備室					
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	21	観光	重点事業No.	10

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	観光のグローバル化が進む中で、市を訪れる外国人も今後増加することが予想されるため、案内表示のユニバーサル化や観光ガイドの育成、宿泊環境の充実などの国際化に向けた取組みを進めます。
根拠法令	区市町村観光インフラ整備事業
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	観光のグローバル化に向けた調査・検討	同左	観光協会と連携して、外国語版観光ガイドの作成	外国語版観光ガイドの活用
	外国語版ガイドマップの作成(英・中・韓 各2万部)	外国語版ガイドマップの作成(タイ・インドネシア 各1万部)	外国語版ガイドマップの活用	同左
	案内表示のユニバーサル化の検討	同左	※ユニバーサル化の検討の中で事業費を算出	案内表示のユニバーサル化
	外国人向けの観光ガイドの育成	同左		同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	10 H	1 人	30 H	1 人	30 H	1 人	30 H
主事・主任職	1 人	20 H	1 人	50 H	1 人	50 H	1 人	50 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	3,006	1,000	1,000	-
人件費(係長職)	50	150	150	150
人件費(主任・主事職)	68	170	170	170
総事業費(合計)	3,124	1,320	1,320	320
国庫支出金				
都支出金	1,503	500		
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	1,621	820	1,320	320
財源内訳(合計)	3,124	1,320	1,320	320

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

外国語版ガイドマップ(タイ・インドネシア語)を9月に各1万部作成した。観光のグローバル化に向けた調査や、案内表示のユニバーサル化について、補助金の獲得も含め、他自治体の情報収集を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	1,000		1,000	901	90.1%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○観光のグローバル化に向けた調査・検討 ○外国語版ガイドマップの作成(タイ・インドネシア各1万部) ○案内表示のユニバーサル化の検討 ○外国人向けの観光ガイドの育成	⇒ ○観光のグローバル化に向けた調査・検討 ○外国語版ガイドマップの作成(タイ・インドネシア各1万部)

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

観光のグローバル化に向け、案内表示等のユニバーサル化を進めていく必要がある。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

案内表示のユニバーサル化の検討、外国人向けの観光ガイドの育成を具体的に行っていく。

【今後の取組方針】

外国人向けの観光ガイドの育成については、市の観光ガイドの育成と並行して外国語対応の育成を進めていく。また、民泊について、他自治体の動向を確認しつつ、活用事例を参考にしていく。

1.基本項目		作成部署		産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 観光スポット周辺環境の整備		不明	年 継続	自治事務(市独自)	その他	○	
01			年				
02			年				
03			年				
04			年				
05			年				
関連課							
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	21	観光	重点事業No.	11

2.事業の概要

施策の基本方針	自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。
事業内容	来訪者の快適性を向上させ、目的地までの円滑な移動や市内を周遊しやすくするため、観光スポット周辺への観光案内標識の設置や駐車場、トイレなどの整備を進めます。
根拠法令	多摩島しょ地域観光施設整備等補助事業
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	市内を周遊するための観光用レンタサイクルの支援	市内を周遊するための観光用レンタサイクルの支援(延べ40人) 観光案内標識の設置の検討 観光スポット周辺の駐車場、トイレの検討	同左(延べ50人) 同左 ※事業を検討する中で事業費を算出 同左 ※事業を検討する中で事業費を算出	同左(延べ60人) 観光案内標識の設置 観光スポット周辺の駐車場、トイレの整備

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	20H	1人	30H	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	H	1人	10H	1人	30H	1人	60H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	190			-
人件費(係長職)	100	150	150	150
人件費(主任・主事職)		34	102	204
総事業費(合計)	290	184	252	354
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	290	184	252	354
財源内訳(合計)	290	184	252	354

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

観光協会のレンタサイクルの貸し出しを支援した。観光案内標識の設置については、有効な設置場所の検討、他自治体の事例や財源となる補助金の獲得に向けた情報収集を行った。観光スポット周辺環境の整備については、休憩所の設置を検討し、整備を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費				0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	10H	1人	10H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○市内を周遊するための観光用レンタサイクルの支援 延べ40人 ○観光案内標識の設置の検討 ○観光スポット周辺の駐車場、トイレの検討	⇒ ○市内を周遊するための観光用レンタサイクルの支援 延べ45人 ○観光案内標識の設置の検討 ○観光スポット周辺の駐車場、トイレの検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他()	A
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

レンタサイクル、観光スポット周辺の駐車場整備など一定の成果が得られた事業であり、今後も継続して展開していく。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

サイクリングステーションの整備とあわせて、事業を展開していく。
また、観光案内標識の設置についても、具体化していく必要がある。

【今後の取組方針】

休憩所の場所については、市民からの要望もあり、奥多摩街道沿いの羽中4-483-1に設置した。近隣市では、青梅市が民間運営であるが、サイクルハーバーを設置している。
サイクリストや観光客をターゲットとし、整備完了後は、羽村市観光協会への運営委託を検討していく。